

臨床研修医

募集要項

2027

慈恵医大西部医療センター

2026年1月
リニューアル
オープン

笑顔をつなぐ場所。



東京慈恵会医科大学
西部医療センター



院長 平本 淳

東京慈恵会医科大学
西部医療センター

当院は、2026年1月から東京慈恵会医科大学西部医療センターとしてリニューアルオープンしました。地上8階、地下1階で1、2階が外来、3階が手術室、集中治療部門、4階に透析室、リハビリテーション室、当直室、職員ラウンジ、4階～7階までが病室で、494床を有します。

都心から程近い東京都狛江市と調布市の間に位置する当院は、23の診療科および11の中央診療部門を有する大学附属病院です。医師数は250人を超え、多くの研修指導医が在籍しており教育には定評があります。

初期研修には common disease、救急患者を多く経験することが大切ですが、当院はそれにぴったりの地域医療支援病院の指定を受けています。1階に初診、救急、小児科を集め、初診患者が動きやすい導線を確認しています。ほとんどの外来を2階に集約し、患者さんにも医療スタッフにもわかりやすく動きやすい作りになっています。救急部はCT室が隣に、内視鏡室、手術室、集中治療室にも専用のエレベーターで移動でき、感染対応専用の部屋もあります。救急は研修に格好の二次救急で救急搬送数は年間5,000件を超える勢いで、研修医がファーストタッチでき非常に勉強になります。新病院になり、救急専門医も大幅に増員し、教育体制も整いました。

各診療科は専門治療を行うとともに、一般的な疾患にも幅広く対応しています。病院のサイズ感も初期研修には丁度良く、各診療科の垣根も低く、医局、研修医室もワンフロアに集まり相談しやすい環境になっています。

また、東京都のがん診療連携拠点病院にも指定されており高いレベルのがん診療を展開しています。新病院では手術室も増設し、ロボット支援下手術も開始しました。無菌室も6室作り、造血幹細胞移植も開始

しました。最新鋭の放射線治療装置も導入しました。また大学病院では珍しい、緩和ケア病棟を有し、がん診療の全てを研修することができます。手術件数は年間約6,000件ですが、デイサージャリーセンターも開始し、年間7,000件の手術を行う予定です。

その他、高次脳機能障害のリハビリを含む包括的なリハビリテーション施設、国際的に知られた精神療法の森田療法センターもあります。

広い敷地内は緑豊かで、医学科国領校、看護学科、看護専門学校があり、グラウンド・体育館・プールなどの運動施設も利用でき、学生食堂の利用も可能です。研修医療は病院から徒歩数分の至近距離にあり、スーパー、コンビニも近く、生活も大変しやすくなっています。

研修医室は 1人1デスクが用意され、院内LANで図書館に繋がり、文献検索も容易です。研修医中心の勉強会も盛んに行われています。研修医教育は研修管理委員会が責任をもって行い、研修生活上の様々な相談にきめ細かく応じており、アットホームな雰囲気には定評があり、本学卒以外の研修医もすぐ慣れてくれます。

研修終了後は 専門医の取得を目指して慈恵医大の後期専門修得コースに進む方が大半ですが、大学院へ進学して基礎および臨床研究に従事する方もいます。当院での研修医のほとんどが、慈恵での後期研修に進んでいることから、研修の満足度が高いことを表していると思います。

新病院になり、新しい病院で、患者数も増え、非常に活気ある病院になっています。将来の進路においても様々な道が開かれている当院で初期研修を開始されるよう、皆様の応募をお待ちしております。

東京慈恵会医科大学 建学の精神

建学の精神「病気を診ずして 病人を診よ」

は、創設者高木兼寛が目指した「医学的力量のみならず、人間的力量をも兼ね備えた医師の養成」を凝縮したものである。この精神は看護学教育にも「病気を看ずして 病人を看よ」として取り入れられている。本学の研究と医療を通じた社会貢献もこの精神のもとで行われる。

東京慈恵会医科大学の前身となる成医会講習所は、高木兼寛により明治14(1881)年に創設されました。それに先立つ6年前、高木はイギリスのセント・トーマス病院医学校に留学。人道主義に基づいたイギリス医学に深い感銘を受け、帰国後は、医療に見捨てられた貧しい人たちのために病院と医学校を作ることを決意します。当時、日本の医学界は、病人を医学の研究材料のようにとらえる風潮がありましたが患者さんの心の痛みに共感し、患者さんを中心に考える医療こそ必要だと、高木は痛感したのです。その後、明治20(1887)年には時の皇后陛下のご意向により、「慈恵」の名を冠した病院「東京慈恵医院」が誕生しました。

この精神は、現在に至るまで色あせることなく受け継がれ、ここで働くすべてのスタッフのよりどころとなっています。医師、看護師をはじめ多職種が連携するチーム医療や、地域の病院や看護施設と協力する地域連携はその一例。入院から外来まで、慈しみ恵む「慈恵の心」をもって医療を実践しています。

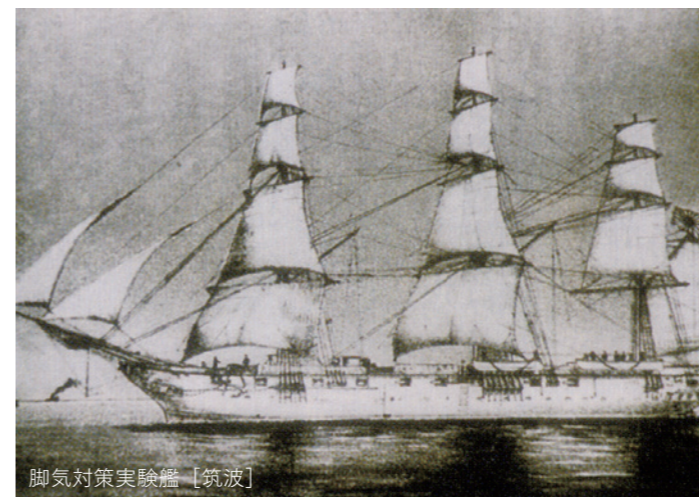
病気を診ずして
病人を診よ

内覧 兼寛



成医会講習所第1期生
(明治18年度卒業生)

昭憲皇太后
時の皇后陛下



脚気対策実験艦 [筑波]

「患者さんを中心に据える医療とは何か？」

「患者さんの病を治すために何ができるだろうか？」

そうした自らへの問いかけに答えるべく、創設以来、私たちは未知の分野への挑戦を繰り返してきました。その象徴的なエピソードが、脚気の撲滅です。明治時代、コレラと並ぶ国民病だった脚気。多くの病死者を出した原因不明のこの病は、創設者・高木兼寛が挑んだある研究によって撲滅されました。高木は脚気の原因を、当時主流だった細菌感染説を退けて、栄養の欠陥によるものだと主張。軍医として責任者を務めていた海軍の練習船を舞台に、遠洋航海中の食事による大規模介入試験を行って自説を科学的に証明しました。その結果、脚気を撲滅し、大勢の命を救ったのです。

この取り組みが後のビタミンの発見に大きく貢献したことから、高木は「ビタミンの父」として世界的な評価を受けています。また、日本の医学の発展と向上に生涯を捧げた彼の挑戦スピリットは後進へと引き継がれ、現在に至るまで数多くの最新医療を生み出してきました。その取り組みは日本の医療界をリードするとともに、患者さんの治療にも生かされています。

創設以来、 脈々と息づく 挑戦スピリット

病院概要

地域医療
支援病院

東京都がん診療
連携拠点病院

東京都
地域連携型
認知症疾患
医療センター

臨床研修指導医
(指導医講習会
受講者)
約80名

一般病床
494床

外来患者数
(1日平均)
1,081人

平均在院日数
一般病床
12.5日

診療をつなぐ

専門性の垣根を越えた、シームレスな高度医療



脳神経・脳卒中センターの新設

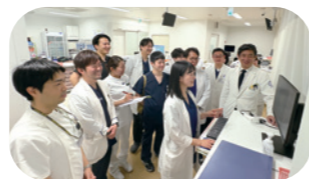
脳神経内科と脳神経外科が垣根を越えて協働し、24時間365日、急性期から回復期まで一貫した治療を提供。

最先端技術の導入

MRI・CT装置、血管撮影装置、ロボット支援手術システムなど、最新鋭の機器を駆使し、安全で精密な治療を実現。

診療科の連携

各診療科が独立するのではなく「つながる」ことで、患者さんの病態に合わせた最適な治療ルートを迅速に構築。



人生をつなぐ

出産から看取りまで、人生を豊かに「つなぐ」医療

私たちは、人生の始まりである出産を支える周産期医療から、乳幼児期の健やかな成長、高齢期の生活の質を守る総老年医療まで、人生のあらゆる段階に応じた医療を提供します。



周産期医療

産婦人科を中心に多数の診療科で支える出産



小児医療

子どもの成長をお父さん、お母さんと一緒に見守っていく小児科



内視鏡下手術

低侵襲で、回復の早い内視鏡下手術



外来化学療法

17床に増えた通院治療室で、よりスムーズな体制を整備



透析治療

血液浄化部で、患者さんの生活に寄り添った透析支援



緩和ケア

“思いやりと慈しみの緩和ケア”全個室21床の緩和ケア病棟を新設

多職種が一体となり、患者さんを支える「チーム医療」

医師、看護師だけでなく、薬剤師、栄養士、医療ソーシャルワーカー、理学療法士など、多職種が一体となって患者さんを全人的にサポート。

専門チームの充実

診療科と職種を越える13の専門チームが連携体制を構築。切れ目のない支援で、最適な医療を提供します。

- 緩和ケアチーム
- 認知症チーム
- 栄養サポートチーム
- 褥瘡対策チーム
- 呼吸療法サポートチーム
- 糖尿病透析予防指導チーム
- 家族支援チーム
- 臨床論理コンサルテーションチーム
- 術後疼痛管理チーム
- 摂食嚥下支援チーム
- 身体的拘束最小化チーム
- 迅速対応医療チーム (RRS)
- 抗菌薬適正使用支援チーム

患者支援・医療連携センター

当院の窓口として、患者さんやご家族、地域の医療機関をつなぎ、安心の医療を支えています。



地域をつなぐ

信頼と共感で築く、地域共同体としての医療

地域共生と最良の治療・療養環境の提供ができるトータルPFM (Patient Flow Management) を実現。



トータルPFM実現のための外来支援

- 1 暮らしや居心地の良さを整備する在宅療養支援
- 2 さまざまな分岐点・起点を逃さず、人生の最終章を支える意思決定支援
- 3 急性期病院として、緊急・重症及び要支援の見極めと迅速な治療・療養環境の調整を行うトリアージ

医療の「入口」を広げる予防と健康づくりの拠点

慈恵西部健康推進 (JHOP, ジェイホップ) センターは2023年4月より活動を開始。地域社会と共に、次世代の健康を創造する医療の新たな形を提供します。

目的

疾病予防と健康寿命の延伸。病気を治すだけでなく、健康を守り、未来を育む医療を目指します。

活動内容

地域住民との協働を重ね、予防医学的な視点から健康づくりや早期発見・早期治療のための啓発活動を積極的に展開。



ガジュマルホール

セミナーや講演など地域の皆様や医療機関との連携の場として新たに開設。「健康」や「たくさんの幸せ」という木言葉をもつ「ガジュマル」から命名。

健康に関するディスカッションや運動プログラムの実践指導など、健康関連のイベントを随時開催。



歴史をつなぐ

伝統と革新の融合 ~人を思う心と科学の力~

私たちは、建学の精神である「病気を診ずして病人を診よ」の伝統を大切に受け継ぎます。



伝統の森田療法

森田療法は、1972年に当院で専門的な取り組みが始まって以来、長年にわたり受け継がれてきた伝統的な精神療法です。患者さんが自分の症状を受け入れ、自分らしい生き方を実現できるよう診療を重ねてきました。現在は外来森田療法を中心に、グループ療法やショートケアを取り入れ、時代に即した新たな展開を進めています。

森田療法センター



未来をつなぐ

次世代医療人を育み、未来の医療を紡ぐ

医療ニーズの多様化・複雑化に対応するため、最先端の医療技術の導入とともに、次世代医療人の育成に取り組み、持続可能な医療の実現を目指します。

新病院のDX活用「Join」アプリ

本学先端医療情報技術研究部が中心となり開発した救命アプリ

- 導入目的
 - 患者さんへの治療開始の時間短縮
- 仕組み
 - 脳内、脳外、救急、放射線、リハ科、看護部など多職種間での共有
 - 画像に対するコメントをリアルタイムで確認
 - 院内外、時間外でも安全に情報共有



高度医療を支える診療体制の充実

診療体制の充実を図る取り組みの一つとして、ロボット支援手術システム (ダビンチ) を導入しました。精密な操作により身体への負担を抑えた安全性の高い手術が可能となり、医師の技術向上にもつながることで、将来にわたって安定した医療の提供が期待されます。今後、各診療科で適切に活用しながら、治療の選択肢を広げるとともに、次世代の医療人材の育成にもつなげていきます。



2027年度開始臨床研修プログラム研修科目及び研修例

西部医療センター 一般プログラム

第 1 年 目					第 2 年 目						
← 地域医療以外は西部医療センターにて研修					→ 協力施設でも可能						
16週	8週	8週	8週	8週	4週	4週	4週	4週	4週	8週	20週
1年目 内 科	救急部	麻酔科	外科 (外)	選択科	救 急 部	精 神 神 経 科	小 児 科 (外)	産 婦 人 科	地 域 医 療	2年目 内科 (外)	選択科

※各研修期間は原則として4週を1ヶ月として行う
※(外)は外来研修を表す

プログラム特徴

- 必修科目については内科 24 週、救急部 12 週、外科 8 週、小児科 4 週、産婦人科 4 週、精神神経科 4 週、地域医療 4 週、麻酔科 8 週も医師としての土台づくりに必須であると考え必修としました。
→内科 24 週については将来どの専門科に進んでも基本となる診療科であり、診療能力を継続して向上させる為、1 年目 16 週、2 年目 8 週とセパレートさせています。またこれにより 1、2 年目研修医、レジデント、上級医の屋根瓦方式の指導体制となり、高い教育効果が生まれました。
- 選択科目は 1、2 年目合計 28 週とし、研修医の幅広いニーズに対応します。
- ローテーションは月(4 週)単位とし、研修科の順番は各自異なります。
- 第 1 年目は、内科、救急部、麻酔科、外科の必須科と前期選択科(1 or 2 科)を履修します。
- 第 2 年目の必須科目は、内科、精神神経科、小児科、産婦人科、地域医療研修とします。
- 第 2 年目の選択科期間は全科より自由選択可能とします。
- 外来研修は 1 年目の外科、2 年目の内科と小児科で並行研修として行います。
(外科 1 週+内科 2 週+小児科 2 週の予定)

1. 上記は一例であり、1年目の必修科目（内科、救急部、麻酔科、外科）、および選択科目の順番は各自異なります。また、内科が16週継続するというものではありません。同様に、2年目の必修科目（精神神経科、小児科、産婦人科、地域医療、内科）、および選択科目の順番も各自異なります。また、2年目の選択科目は20週継続するというものではありません。

2. 選択科目は、各自が自由に組み合わせることができます。

選択科（28週）

総合診療部、消化器・肝臓内科、脳神経内科、腎臓・高血圧内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、腫瘍・血液内科、循環器内科、呼吸器内科、外科、麻酔科、小児科、精神神経科、産婦人科、皮膚科、整形外科、脳神経外科、形成外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線科、救急部、内視鏡部、病院病理部

3. 協力施設

《地域医療研修》

【病院】

- ・大森病院（秋田県）
- ・羽後病院（秋田県）
- ・城山病院（東京都）

【東京都地域枠】

- ・三宅村国民健康保険直営診療所（三宅島）

【クリニック】

- ・染谷クリニック
- ・かじわらハートクリニック
- ・にゅうむら医院 等

《選択科目》

- ・東京慈恵会医科大学西部医療センター
- ・東京慈恵会医科大学葛飾医療センター
- ・東京慈恵会医科大学附属柏病院
- ・青木病院（東京都）
- ・国保旭中央病院（千葉県）
- ・足利赤十字病院（栃木県）
- ・佐久総合病院／佐久総合病院佐久医療センター（長野県）

《募集要項》2027年度 東京慈恵会医科大学西部医療センター 臨床研修医

1. 応募資格

- 1) 第121回医師国家試験合格見込みの者
- 2) 医師国家試験合格後臨床研修を実施していない者

2. 募集定員

- 1) 一般プログラム：17名

3. 研修期間

2027年4月から2029年3月まで

4. 研修科目

5 ページ研修科目及び研修例参照

5. 業務内容・配属機関・勤務時間等

業務内容：医師業務
配属機関：東京慈恵会医科大学西部医療センターおよび臨床研修プログラムに定める外部施設
勤務時間：[月曜日～金曜日] 9時～17時 [土曜日] 9時～15時
※勤務部署により時差別勤務あり
※1ヶ月単位（週平均実働40時間/1ヶ月）の変形労働時間勤務あり
所定時間外労働：あり
休憩時間：1時間
休日・休暇：日曜、祝日、創立記念日（5月1日）、年末年始、振替休日制度あり
その他、年次有給休暇、産前産後休暇あり（就業規則及び規程による）

6. 身分及び処遇

身分：西部医療センター院長直属の臨床研修医
基本手当：245,000円（定額緊急勤務手当 45,000円（29時間相当分）を含む）
※定額緊急勤務手当額を超えて時間外労働を行った場合は、その時間に応じて緊急勤務手当を支給する
【月収例】月額約295,000円（宿日直料、通勤手当等含む）
通勤手当：通勤手当支給規定による
その他：宿直手当・日直手当などの支給制度あり
社会保険：加入
宿舎：あり

7. 選考方法

当院選考委員会の選考（模擬患者との医療面接、小論文、個人面接）を経て決定する。

8. 応募手続

- 1) 願書（採用申請書） ※1) 願書（採用申請書）、2) 履歴書、3) 推薦状については、当院所定の書式にて提出してください。
 - 2) 履歴書 各書式はホームページからダウンロードできます。履歴書には必ず写真を貼付のうえ、捺印してください。
 - 3) 推薦状 ※原則、自大学からの推薦状が望ましい
 - 4) 成績証明書
 - 5) 医療系大学間共用試験実施機構が実施する CBT個人別成績表の写し
 - 6) 卒業証明書（見込み）
- なお、左記の応募手続書類を全て提出いただいて応募完了となります。ホームページ上のフォームに入力しただけでは応募となりませんのでご注意ください。

9. 応募書類提出期間・採用試験日

当院は医師臨床研修マッチングに参加する。

- 1) 募集期間
1回目 本学学生対象：2026年6月8日（月）～2026年7月3日（金）（17時必着）
2回目 他学学生対象：2026年7月6日（月）～2026年7月24日（金）（17時必着）
- 2) 採用試験日
1回目 本学学生対象：2026年7月18日（土）
2回目 他学学生対象：2026年8月8日（土）
※当日の詳細については追って通知する。

10. 応募書類提出・問合せ先

〒201-8601 東京都狛江市和泉本町4-11-1
東京慈恵会医科大学西部医療センター 管理課 研修管理事務局
Tel 03-3480-1151（代表）
当院以外の本学各附属病院（本院、葛飾医療センター、柏病院）の併願も可能としております。

11. 応募者の個人情報について

ご提出いただいた応募書類（申請書、履歴書等）に記載してある個人情報は、採用試験、及び医師臨床研修マッチング協議会への登録に限り使用いたします。また、応募書類の閲覧については、採用試験に関わる当院の面接官、担当職員に限定いたします。但し、臨床研修に関する外部からの各種調査については、個人が特定されないよう配慮したうえで、回答する場合がありますのでご了承願います。

病院見学・説明会について

■ 病院見学のお申し込み

病院見学は随時受付中です。ホームページの申込フォームよりお申し込みください。
また、ご質問等ございましたら、下記の問い合わせ先までお問い合わせください。



【記載事項】

1. お名前、大学名、学年
2. 住所
3. 連絡先
4. 見学希望科名・見学希望場所
5. 見学希望日

【問い合わせ先】

東京慈恵会医科大学西部医療センター 管理課 研修管理事務局
電話 03-3480-1151 (代表)
メールアドレス daisankensyu@jikei.ac.jp

■ 2027年度採用・研修説明会

開催日時: 2026年6月10日(水) 17:30~

※オンラインにて開催いたします

詳細につきましては、ホームページに掲載いたします。
ご質問等ございましたら、下記連絡先までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

東京慈恵会医科大学西部医療センター 管理課 研修管理事務局
電話 03-3480-1151 (代表)
メールアドレス daisankensyu@jikei.ac.jp

2026年度研修医研修初日



ひとつひとつ
アセスメントして、
自分で検査を考えて
計画できたことが
力になった。



レジデントの志望科に
悩んでいるときに
指導医の先生が
親身になって話を
聞いてくれました。

定期的に勉強会を
開催しているので、
通常診療では教わることが
できない知識を学ぶことが
出来ます。



研修医の声

慈恵卒の研修医が多いが、
他学卒の研修医は
入職初日から
打ち解けてすぐに
仲良くなれます。

研修医寮がとても近く
家賃も安いので魅力的です。
スーパーやコンビニも
近くにあるので
生活に便利です。



研修医室が広く、
自分の席も
自由に選ぶことが出来ます。
窓からの眺めも
最高です。

先生たちも
みんな優しく
和気あいあいと
しています。



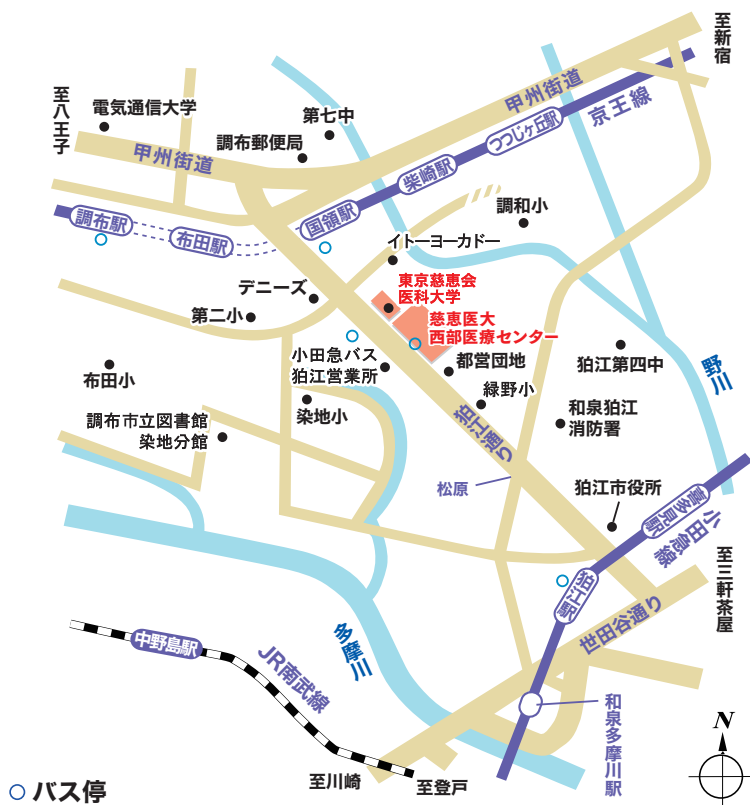
交通アクセス



東京慈恵会医科大学西部医療センター
管理課 研修管理事務局



〒201-8601 東京都狛江市和泉本町4-11-1
電話 03-3480-1151 (代表)



- 京王線 国領駅下車
国領駅より徒歩約12分
- 京王線 調布駅下車
南口よりバス約10分
- 京王バス つつじヶ丘駅南口行
慈恵医大西部医療センター 下車
- 小田急バス 成城学園前駅西口・渋谷駅・二子玉川駅・
狛江駅北口行
慈恵医大西部医療センター 下車
- 小田急線 狛江駅下車
北口よりバス約10分
- 小田急バス 慈恵医大西部医療センター行
終点 下車
- 武蔵境駅南口・調布駅南口行
慈恵医大西部医療センター 下車
- 京王バス 調布車庫前行
慈恵医大西部医療センター 下車
- 調布駅南口行
慈恵医大西部医療センター 下車

附属病院のご案内



東京慈恵会医科大学附属病院

〒105-8471 東京都港区西新橋3-19-18
電話 03-5400-1200 内線 2731-2

■ 地下鉄

- 都営三田線 御成門 A5出口 約3分
内幸町 A3出口 約10分
- 日比谷線 神谷町 3出口 約7分
虎ノ門ヒルズ A1出口 約9分
- 銀座線 虎ノ門 1出口 約10分
- 銀座線・都営浅草線 新橋 8出口 約12分
- 丸の内線・千代田線・日比谷線
霞ヶ関 C3出口 約13分

■ JR新橋駅 下車 徒歩12分

■ JR浜松町駅 下車 徒歩15分

■ 新交通ゆりかもめ 新橋駅下車 徒歩13分

■ バス (東急)

東京駅南口～(目黒駅経由)～等々力操車所
「慈恵医大前」または「愛宕山下」下車
東京駅丸の内南口バス乗り場(1番)より約20分



東京慈恵会医科大学葛飾医療センター

〒125-8506 東京都葛飾区青戸6-41-2
電話 03-3603-2111 (代表)

■ 京成線 青砥駅下車

バス約6分/タクシー約5分/徒歩約10分

○ 京成バス

(慈恵医大葛飾医療センター行き・直通バス)

京成青砥駅ユアエルム青戸前

～慈恵医大葛飾医療センター下車

■ JR常磐線 亀有駅下車

バス約10分/タクシー約5分

○ 京成タウンバス

(慈恵医大葛飾医療センター行き・直通バス)

亀有駅～慈恵医大葛飾医療センター下車

○ 京成タウンバス (新小58系統)

亀有駅～新小岩駅 (環七経由)

慈恵医大葛飾医療センター下車 徒歩約3分



東京慈恵会医科大学附属柏病院

〒277-8567 千葉県柏市柏下163-1
電話 04-7164-1111 (代表)

■ JR常磐線 北柏駅下車

南口より徒歩約10分

南口より阪東バス 終点 慈恵医大柏病院下車

■ JR常磐線 柏駅下車

東口より徒歩約25分

東口3番乗り場より阪東バス

慈恵医大柏病院・ウェルネス柏行

慈恵医大柏病院下車